

4年間の学科コンセプトに関わる科目と役立ち感調査および資格取得 (1期生)

本学科のコンセプトである「地域に学ぶ」「多職種協働ができる」「複数の資格や学びを持った福祉人材になる」について、コンセプトとの関係の深い科目について調査を行ったものである。

地域交流活動は1年2年の履修であるが、卒業時4年間の学修においても、「複数の資格や学びを持った福祉人材になる」に役立ったという評価だった。更に、授業の目的や到達目標と授業内容のつながりを意識した授業を展開していく必要がある。

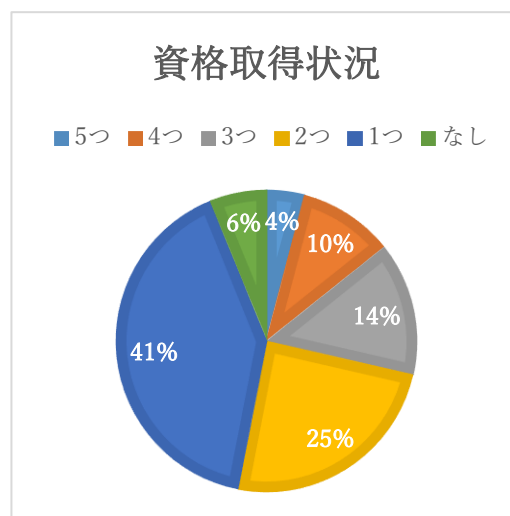
進路として86%の学生が福祉系の行政職や病院、福祉施設に就職し、地域福祉人材養成ができていますと評価できる。

複数の学び・資格については、約半数の学生が複数資格を取得した。福祉人材として福祉2資格または技能強化の学び・資格と組み合わせて取得していた。資格・学びの数が多い学生は介護福祉士を目指す学生が多く、介護福祉士資格を取得し介護福祉の現場へ就職している。一方約4割の学生が社会福祉士国家試験受験資格のみであったが、国家資格に至らなかったまでも、多くの学生が行政書士や社会保険労務士の対応科目を履修しており、社会福祉士として働く時の学びを重ねる努力をしていたと考えている。

資格取得に至らなかった3人については、入学後、福祉専門職を目指さないという意志表明があり自分の希望する就職ができています。また、資格は取得したが大学院に進学したものが3人おり、進学先は別領域の大学院である。これらの学生は、いわば学科教育とのミスマッチとなったわけであるが、自分の将来設計において卒業後の進路変更を選択し、大学卒業し学位を取得できたことはよかったのではないかと考えている。一方、こうしたミスマッチを増やさないために、入学試験や個別面接等の工夫も必要になると考えている。

1. 複数の学び・資格の取得数

主幹資格として社会福祉士国家試験受験資格、介護福祉士国家試験受験資格、その他技能を強化する資格として、介護予防運動指導員、アクティビティワーカーが取得できる。また、行政書士、社会保険労務士の国家試験対応科目を開講している2つの資格および就職希望先で役立てるために学生が自主的に取得した資格(保育士等)をその他とカウントした。複数の学びとして、2つの副専攻をカウントし、7つの資格取得について各資格を取



得した学生の割合を算出した。

複数の学び・資格の取得について、何の資格等も取得していない学生が3人(6%)、1つだけが20人(41%)であり、すべて社会福祉士国家試験受験資格取得者だった。2つは12人(25%)で、福祉2資格の組み合わせが2人、社会福祉士と社会調査士の組み合わせが5人、社会福祉士と副専攻共生社会推進士が4人、社会福祉士とその他(保育士)が1人だった。3つは7人(14%)で福祉2資格に介護予防運動指導員、アクティビティワーカー、社会調査士等の技能強化のための認定資格取得者が多かった。社会福祉士と副専攻および自主的に保育士を取得した学生もいた。4つは5人(10%)ですべて福祉2資格と介護予防運動指導員、アクティビティワーカーを組み合わせで取得していた。5つは2人(4%)で福祉2資格および副専攻地域介護専門士を組み合わせることにより、介護予防運動指導員、アクティビティワーカー資格と認定介護福祉士科目の6つの科目の科目認定を受けていた。

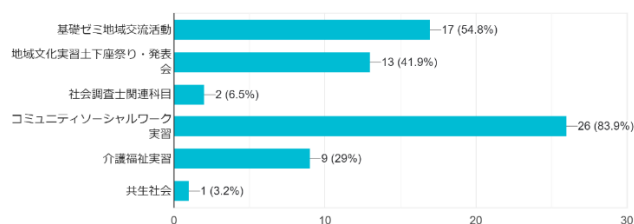
2. 学科コンセプトである「地域に学ぶ」「多職種協働ができる」「複数の資格や学びを持った福祉人材になる」の3点について、どの科目が役立ったかを自己記入式アンケートにより4件法で尋ねた結果である

対象：4年生(1期生49人) 回答率31/49

調査時期：すべての科目終了後、卒業前ガイダンス以降(2023年2月15日～3月31日)

1) 地域に学ぶについて、地域福祉の実践機関である社会福祉協議会を主な実習先としている「コミュニティソーシャルワーク実習」「基礎ゼミナールCでの地域交流活動」が多かった。介護福祉実習は履修者12人であり、そのうち9人が役立ったと回答しており、地域活動と実習が役立ったと感じていた。

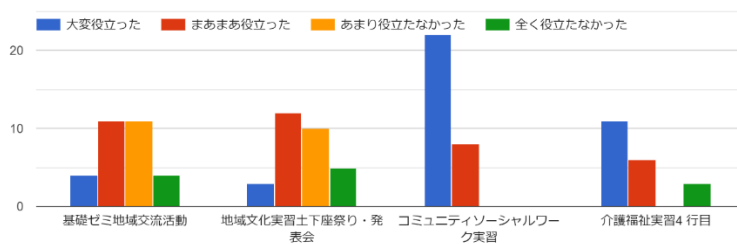
「地域に学ぶ」ことについて、役立った科目や活...、当てはまるものをすべてチェックしてください
31件の回答



2) 多職種協働ができるについては、地域活動2項目(基礎ゼミ地域活動、地域文化実習)、社会福祉士実習、介護福祉士実習の4科目について4件法で尋ねた。

その結果、福祉2科目の実習は高かった。地域活動2科目については地域住民等との交流が多職種協働に役立つと回答したのは半数であった。

「多職種協働ができる」ことについて、以下の科目はどの程度役立ちましたか



(3) 複数の資格や学びを持った福祉人材になるについて、学科コンセプトの一つである地域交流活動と、3学科共通科目であるチームアプローチ演習、4年間の学修の総まとめとなる地域福祉研究および福祉2資格の実習について尋ねた。

福祉2資格が多職種協働と同様にもっとも役立ったという回答になった。役に立たなかったという回答は、地域福祉研究についても役に立ったという回答が多かった。地域交流活動については約半数が役に立ったという回答だった。チームアプローチ演習については、他学科の学生とのディスカッション等を経ることで、各専門領域の学びを得るという視点は弱かった可能性がある。地域福祉研究については研究テーマや調査対象等により役立たなかったという回答となった可能性も残る。

「複数の資格や学びを持った福祉人材となる」ことについて、以下の科目はどの程度役立ちましたか

